

# ゆうあいだより

№180

令和5年(2023年)2月20日発行

障害者支援センター

かしのきの里

在宅障害者デイ・サービスルーム

書写障害者デイサービスセンター

広畑障害者デイサービスセンター

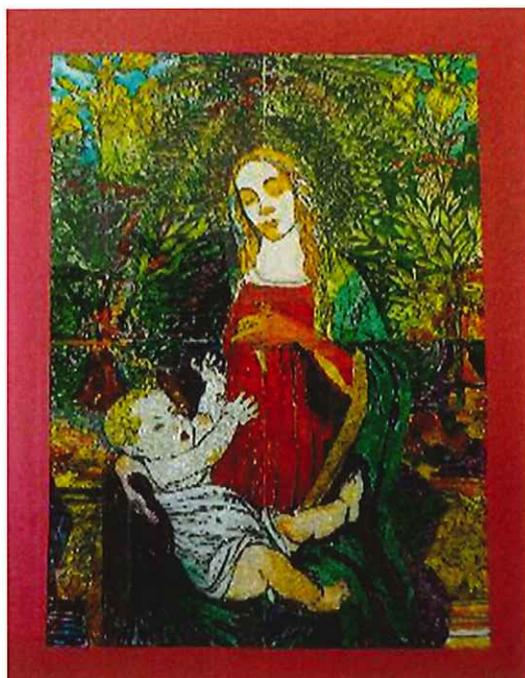
障害者やすらぎルーム 障害者体育館

あぼしりサイクル事業所

ぱっそ・あ・ぱっそ

新年が明けて、早 2 ヶ月が過ぎようとしています。日中は暖かさを感じる事が多くなってきましたが、朝夕はまだまだ寒さが続いていますので体調には十分気を付けていきましょう。また、新型コロナウイルス感染症については第 8 波以降も連日報道が続いている状況です。暖かさと共に少しずつ収まっていくことを願い、春の訪れを楽しみに待ちたいと思います。

## ゆうあいギャラリー



タイトル

スタンドグラスアート

「紅衣のマリア」

在宅障害者

デイ・サービスルーム

共同作品

広く活動内容を知っていただくために、利用者の写真を多く掲載しています。掲載写真は、ご本人の了承を得たうえで使用させていただいています。

# スポーツ教室 スポーツのつどい

障害者体育館長 伊藤 文繁

皆さん、障害者体育館で、スポーツ教室やスポーツのつどいの活動が行われていることをご存じでしょうか？

新型コロナウイルスの流行により、令和元年から2年ほどの間、スポーツ教室等を開催できない状況が続いてしまいましたが、昨年4月から再開しています。

今回は、これらの活動についてご紹介します。

## スポーツ教室

スポーツ教室は以下のような日程で、6教室が開催されています。

エアロビクス教室 ゆったりコース	毎月第2土曜日	工藤裕美先生
エアロビクス教室 しっかりコース		
チャレンジ教室 ゆったりコース	毎月第3土曜日	伊達ひろみ先生
チャレンジ教室 しっかりコース		
ポッチャ教室 Aグループ	毎月第2土曜日	村上昭人先生
ポッチャ教室 Bグループ	毎月第3土曜日	

各教室はそれぞれの専門の講師の指導・アドバイスによって進められます。

利用者の皆さんには興味のある教室を選択していただき、ルネス花北の敷地内にある障害者体育館で行われる毎月1回の教室にご参加いただきます。費用は無料です。参加者の募集時期は社会福祉事業団のホームページ等において、4月～5月頃に行われます。（新型コロナウイルス感染症の影響により、開催できない場合や募集時期がずれることがあります。）



(ポッチャ教室) 試合となれば真剣そのもの！



(チャレンジ教室)  
今日はバスケットボールだよ～



エアロビクス教室は、工藤先生のお話も楽しみながら参加者それぞれのペースで身体を動かします。教室が終わる頃になると、皆さんうっすらと汗をかいていますので、真剣に取り組むと結構きついかもしれません。

チャレンジ教室は、風船バレーやバドミントンなど、毎回することが変わります。参加者のその日の様子を見ながら、全員が参加できるように伊達先生が種目やルールをアレンジしてくれます。例えば、バスケットボールなら背の低いゴールなど、使う器具も様々です。

ポッチャ教室は試合中心です。毎回チームを決め、得点をホワイトボードに書き入れながらトーナメント戦をしています。ボールを投げるときは真剣そのものですが、和気あいあいと楽しまれています。初めての方も一緒にやりましょう！

## スポーツのつどい

スポーツのつどいは夏冬年2回開催しており、名古屋経営短期大学の田島先生が講師を務めてくださっています。スポーツのつどいで行う競技はさまざまですが、レクリエーションとスポーツを足したような「レクスポーツ」と呼ばれる競技が中心です。



### 【ボウリング】

ボウリングはみなさんご存じかと思いますが、つどいで行うボウリングは、ボールが小さくて、少し軽いものです。ボウリング場のように機械がピンを並べてくれることはありませんが、そこは学生ボランティアの方々がカバー。ストライクが出るとガッツポーズやハイタッチ、歓声や拍手が聞こえ盛り上がります。



### 【ディスゲッター9】

「ディスゲッター9」というと聞いたことがないかもしれませんが、「ストラックアウト」といえば、お聞きになったことがあるかもしれません。1～9までの数字が書かれたプレートボール又はフリスビーを投げることによって、打ち抜いていく競技です。投げる距離は、その人に応じて相談しながら決めていきます。スポーツのつどいの人気競技です。



### 【スカットボールⅡ】

12個の穴が開いたボードに球を転がして穴に入れていくゲームです。球はスティックで打って転がします。ゲートボールやパターゴルフに似た競技ですが、スティックに工夫がしてあるので、打ちやすくなっています。

スポーツのつどいでは他にもいろいろ楽しい競技を行っています。皆さんも是非ご一緒に楽しんでみませんか？

### 【お問い合わせ先】

障害者支援センター障害者体育館係 079(282)2384



令和4年度から、すべての事業所に「虐待防止責任者の設置」「虐待防止委員会の設置」「虐待防止研修の開催」等が義務化されました。ルネス花北成人部も横断的な権利擁護虐待防止委員会の設置、各事業所で同会議が開催され、日頃の利用者への対応についての報告や意見交換、権利擁護の意識を深める取り組みを進めています。その一環として、今回、関西福祉大学の谷口泰司教授（以下、谷口先生）をお迎えし「虐待防止の視点について」ご講演いただきました。また、今回は障害者支援センターでの対面講演と、他部署についてはZoomを使った視聴のハイブリッド体制で実施しました。それでは、講演の一部を報告いたします。

谷口先生は、「ルネスのように専門性を高く掲げて事業を行っている事業所こそ気をつけて」と話されました。利用者への愛情があっても、支援する側の「思い」や「熱意」が先行し、良いと思って行った独りよがりの支援が虐待に結びつくケースがあります。この場合、支援者側に虐待の自覚がないことも多いようです。これは思い・熱意に対し、支援の技術や障害特性に対する知識・理解が追いついていないことなどが原因に挙げられます。そして、支援における「密室性」も虐待誘発要因の一つにあります。これは構造面を指すものではなく、「限られた人間関係の継続」と「社会参加・交流機会の乏しさ」を言い、自閉症支援における“環境・関係の安定・構造化”が時として、密室性を強化してしまうことがあるということです。少なくとも支援者は、支援における正当化や密室性がもたらす影響、危険性を認識しておく必要があります。

このように支援者は、不適切な支援がないか、本人が主体となっているか、安全確保の観点から本人・家族の同意を得て行っている身体拘束であっても他に代わる方法はないのか、常日頃から点検していくことが求められます。「これくらいなら許される」「仕方ない」として日常に甘んじた対応はないか、事態が大きくなる前に小さい芽のうちから摘んでいくことを、組織的に多角的な視点を持って取り組んでいくことが重要です。そして、適切な理解と支援の具体的方法について様々な意見を出し合って見直していける仕組みがあることが大切だという話がありました。しかし、どんなに気を付けていても不適切な事案は起こってしまうことがあります。事案が発生した時にこそ、個人の問題ではなく組織の問題として迅速に対応していかなければなりません。事実確認や要因分析を行い、組織の改善に向けた前向きな議論を行っていく必要があります。

組織的な取り組みとして有効なものの一つが、支援の専門性を高めるための研修や学習会、事例検討会等の開催です。右の図にあるように、多様な内容についての学習を深め、一人ひとりの職員が専門職としての自覚と資質を高めていくことが重要です。それから、支援がうまくいっていない原因に組織的あるいは体制的な問題が発生していないかの点検も重要になります。問題の所在を見極めて適切な労務管理と、困ったことがあれば何でも話せる場や、一人で抱え込ませない体制づくり、お互いに認め合ってコミュニケーションが取りやすい、風通しのよい職場づくりが求められます。これは現在、重点課題となっている人材育成に共通点が多いように感じました。

最後に、谷口先生から意思決定支援についてのお話の中で、「利用者としっかりと向き合い、一緒に悩む時間が大切である」というお話があり、虐待防止に向けた取り組みで最も大切なことは、利用者の幸せと権利擁護について日常の支援の中で振り返り、人権に対する意識や感度を高めていくことだと再確認できました。改めて、それぞれの利用者が権利主体であることを意識し、よりよい支援を追い求め続けることが、結果として虐待防止につながるものと考えます。

参考) 研修で取り組むべき内容

① 虐待防止・人権意識向上に関するもの	職業倫理・倫理綱領・行動指針・掲示物の内容 法令解釈・指定基準 当事者・家族の意見を聞く機会 等
② 労務管理(メンタルヘルス)に関するもの	ストレスコントロール・アンダーマネジメント 職員間・上司との意思疎通に関する研修 等
③ 障害特性の理解・支援技術等に関するもの	自閉症・強度行動障害等に関する理解 他施設の見学や交流 等
④ 事例検討	事例に基づく課題分析・解決手法の検討 個別支援計画の検討 等
⑤ 利用者・家族を対象とした研修	利用者等の権利意識向上に向けた働きかけ 等

(国研修資料より抜粋)

## 研修報告 第33回 ルネス花北公開セミナー

「私らしく生きる ～ありのままを受け入れて～」を聞いて

ぱっそ・あ・ぱっそ 八木 亜由美

去る12月18日、コロナ禍により中止・延期となっていましたルネス花北公開セミナーが3年ぶりに開催されました。今回は、岡山県で活動されている発達障害者当事者の会「どろだんごの会」代表の瑠璃真依子さんをお迎えし、当事者の立場、幼少期から現在に至るまでの出来事や想い、葛藤などをたくさんのエピソードを交え、お話いただきました。

皆さんは発達障害と聞いてどんなイメージを持たれるのでしょうか？

見通しが持てないことが苦手、集中すると周りが見えにくくなる、視覚優位のために聞くことより見て覚えることの方が理解しやすい…など、人によって違いはあるけれど、周囲がそれを知り関わり方や環境を工夫することで、安心して過ごせる時間を増やすことができます。

瑠璃さんがお話されるエピソードは、一つひとつ興味深く、目から鱗が落ちるようなお話が満載でした。例えば、「こだわり・味覚の過敏さ」では、お母さんのお弁当が苦手な食べられなかったけれど「味が混ざるのが苦手」な事が原因だと分かり、おかずを別々の入れ物に入れたら大丈夫になったというお話。「コミュニケーション」では、教員採用試験の集団討論への対策の時に「話を聞くというのは、その人の方を向いてフンフンと頷くと聞いてくれていると感ぜてもらえる」と教えてもらい、そこまで具体的に教えてもらい初めて理解できた、などのお話がありました。

相手のことを理解したり寄り添おうと思うと、物事の感じ方や捉え方、どうしてそういう行動に結びついたか？を紐解いていく必要があります。合理的配慮の必要性が認知されるようになってきましたが、難しく考えすぎるのではなく、こういったことを知ることが第一歩になっていくのではないのでしょうか。今回は、そのためのヒントをたくさん受け取る機会となりました。



## 活動報告 地域の集会所で芸術祭の作品展示会を開催しました！

書写障害者デイサービスセンター 安藤 希

今年度も新型コロナウイルスにより、イーグレひめじでのルネス花北芸術祭の開催は中止となりました。しかし、芸術祭に向けて利用者の皆さんが心を込めて作った作品を披露したいという思いから、前年度と同じく当事業所の会議室で11月14日～18日まで展示を行いました。

更に今年度は、より多くの方に見てもらえるよう、近隣の集会所を借りて、11月24日25日の2日間展示会を開催することができました。開催するにあたり、チラシを作成し、近隣の施設や住宅へ、利用者の皆さんと一緒に配りに行きました。

展示会は2日間で31名の方が足を運んでくださいました。利用者や住民の方と直接交流することもでき、「素敵な作品ですね」や「こんな取り組みをしていたのは知らなかった」「これからもがんばってください」と励ましの声を多数かけていただきました。コロナ禍になり、地域の方々や交流する機会がもてていみせませんが、今回集会所で展示会をすることで、地域の方々や話す機会や、当事業所のことを知ってもらえる良い機会になったと感じました。また、ルネス花北についての紹介パネルも設置したことで各事業所の紹介もすることができました。利用者からも、「声をかけてもらえて嬉しかった」「次も頑張りたい」という来年度に向けての意欲的な言葉が聞かれました。

「今年は何を作る？」のワクワクからはじまり、終わってしまうと寂しさもありますが、達成感や満足そうな利用者の皆さんの表情や言葉から、とても有意義な展示会だったと感じました。

# コスティバル 開催!

障害者支援センター  
コスティバル係  
瀬上 怜



コロナ禍を吹き飛ばせ!~

＜コスティバル：コスモス会（利用者自治会）とフェスティバルから出来た造語です。＞



芸能集団「天魁」さん  
による和太鼓演奏



プレゼントを  
配る部屋は...?



屋台風メニュー



待ち時間に楽しんでネ

12月2日(金)、障害者支援センターで「コスティバル」を開催しました。

コロナ禍で花の北福祉まつりや旅行、忘年会といった楽しい行事が軒並み中止となる中、より安全に実施出来ることはないかと考えて始まったこの行事も、今回で3回目を迎えることとなりました。久々の行事で、利用者の皆さんの普段とはまた違った笑顔を見ることが出来て本当に良かったです。また以前のように安心して楽しい行事が沢山出来るようになる日が、早く来るといいですね。

♪エンディングは、在宅障害者デイ・サービスルームの  
利用者の皆さんによる演奏で締めさせていただきました。♪

## 応援します！ルネス

かしのきの里  
実習係 鷹谷直樹

障害者支援センターとかしのきの里では、毎年11月に歯科衛生士養成校である兵庫県歯科医師会附属兵庫歯科衛生士学院（旧名：兵庫歯科学院）から実習生を受け入れています。今年度かしのきの里で実習生指導にあたられていた指導教諭の方に、お話をお聞きできましたので紹介させていただきます。（インタビュアー：鷹谷）

インタビュアー（以下Q）：かしのきの里のことはご存じでしたか？

実習指導教諭（以下A）：ここ何年かは外れていましたが、4～5年前にも実習指導で来させていただいていました。初めて出会う利用者の方もおられますが、馴染みのある方が元気に声をかけてくださって嬉しく思います。



Q：実習中に利用者の皆さんと接し、どのような印象を持たれましたか？

A：利用者さんと一緒に作業に携わらせていただき、皆さんの真面目でひたむきな姿勢を知ったり、我々が日々疎かにしがちな社会の基本ルールやマナーを徹底しておられることなど、多くの学びを得ることができました。

Q：実習生さんにはどのような指導をされているのですか？

A：実習生には、普段の関わりで信頼関係を築くことや、相手の方の障害特性に合わせて指導内容を工夫するように伝えています。正しいブラッシング方法があっても、押しつけにならないように、相手にどう伝えれば受け入れてくださるのかを考える、とてもよい機会だと思います。

Q：利用者の方やご家族の皆さんに向けて、口腔ケアについて伝えたいことはありますか？

A：利用者さんの中には、かかりつけ歯科をお持ちの方もあり、お口の清掃が100点満点だと褒められる方もおられました。まだお持ちではない方には、虫歯が大きくなる前に、歯が痛くなる前に、そして皆さんの大切な歯を守るために、歯ブラシ選びや個人のお口の状態に合った歯磨きの方法を教えてもらえる等、利点いっぱいの“かかりつけ歯科”を作ってみてください。

Q：最後に一言…

A：歯科衛生士を目指している6名が、大変お世話になりました。実習終了後も毎日の歯磨き習慣が継続され、健康で“健口”な毎日を過ごされますことを願っています。20日間、ありがとうございました！



### 後記

日中は作業や活動に参加し、給食後には利用者の口腔内をアセスメントして正しいブラッシング方法を教えていただいています。利用者の方の口腔ケアには大切な場面であり、支援員にとっても歯科衛生の知識を得られる貴重な機会だと感じました。

## ルネス花北成人部事業所一覧

姫路市立 <b>障害者支援センター（多機能型）</b> 〒670-0804 姫路市保城 309 番地 1 TEL 079-282-2384 FAX 079-224-6751	
就労移行支援	就職訓練班
自立訓練	自立訓練班
就労継続支援B型	喫茶班「café ぴあのぴあ〜の」「café あつと・ゆ〜る」「ふれあい」 製菓班「クッキー工房 櫛の詩」・洗車班・作業第一班
生活介護	軽作業班・個別作業班・活動班
姫路市立 <b>かしのきの里（多機能型）</b> 〒671-2246 姫路市打越 1352 番地 6 TEL 079-267-0202 FAX 079-267-0445	
就労移行支援	就労移行班
就労定着支援	
就労継続支援B型	クリーン作業・陶芸班
生活介護	姫路市立 <b>書写障害者デイサービスセンター</b> 〒671-2203 姫路市書写台二丁目 7 番地 1 TEL 079-267-2636 FAX 079-267-2794
生活介護	姫路市立 <b>広畑障害者デイサービスセンター</b> 〒671-1116 姫路市広畑区正門通三丁目 2 番地 2 TEL 079-239-1888 FAX 079-239-1898
地域活動支援センターⅡ型	姫路市立 <b>在宅障害者デイ・サービスルーム</b> 〒670-0804 姫路市保城 309 番地 1 TEL 079-282-2384 FAX 079-224-6751
障害児・者一時保護施設	姫路市立 <b>障害者やすらぎルーム</b> 〒670-0806 姫路市増位新町二丁目 37 番地 TEL 090-2598-9237 FAX 079-224-3173
体育施設	姫路市立 <b>障害者体育館</b> 〒670-0806 姫路市増位新町二丁目 37 番地 TEL 079-288-7122 FAX 079-224-3173
就労継続支援A型	<b>あぼしりサイクル事業所</b> 〒671-1236 姫路市網干区網干浜 4 番地 1 エコパークあぼし内 TEL 079-273-8889 FAX 079-273-8870
相談支援事業所	<b>ぱっそ・あ・ぱっそ</b> 〒670-0955 姫路市安田三丁目 1 番地 姫路市総合福祉会館 2 階 TEL 079-240-6702 FAX 079-240-6705

ゆうあいだより No.180 令和5年(2023年)2月20日発行  
発行 姫路市総合福祉通園センター成人部